

参考資料：委員アンケートより抜粋（観光・シティプロモーション関連）

区の好きなところ

- ・東京スカイツリーや江戸東京博物館、両国国技館など、全国的に有名な観光スポットが多くあること。
- ・名所が多い（スカイツリー・隅田川など）。

改善すべきところ

（観光）

- ・訪日外国人の調和と制限
移動人口による経済効果やさらなるシビックプライド高揚のためにも、訪日外国人の受け入れ体制強化の一方、民泊のコントロールや不法滞在者への徹底対応は治安・生活環境維持のため重要。
- ・観光客、特に近年は外国人観光客が激増しているが、地震など災害発生時の避難誘導はじめ観光客への対応準備はどの程度進んでいるのか。
- ・非常に多くのコンテンツに恵まれている一方、それぞれの活用が分散してしまって来街者への訴求力が今一つに感じる。テーマパークのような発想で、エリアごとに活用テンツを名確化して徹底的な展開をするようにしてはどうか。

（シティプロモーション・情報発信）

- ・新しい文化や産業に広報やアピールが少ないこと。
アストロスケール社の成功や、テレビアニメ「リコリス・リコイル」の舞台になったなど、若い人が興味を持ちそうな新しい文化や産業がありますが、区をあげての露出が少なくチャンスを逃していると感じます。
- ・シビックプライドの醸成。
区民が誇りに思うべき墨田区の価値が、十分に認識・共有・共感されていないことがある。生活者・事業者への積極的な告知を、総合的な広報戦略の中で実現していくと、より良くなると思う。

まち全体として大切にしていけるべき理念

- ・観光資源を活かすまちづくりをすべき。

人として大切にしていけるべき理念

- ・「人 つながる 墨田区」というシティプロモーションで作成された言葉は、すでに多くの区民に認知されているので、基本構想の中でも大事にしていくべきだと思う。
- ・墨田区内における各分野のイベントを通して人と人を結び付けられるようにしていきたい。地域で住民が参加でき、人と人が行き来できお互いを知ることができる場を設けていきたい。
- ・すみだに関わる人がそのこちよさを実感し、つながっていく中で、当事者として能動的に発信していくこと。
- ・新旧の住民がお互いの違いを尊重して、自分の地域の知識を（区報・ホームページなどで）得て楽しい気持ちで暮らすこと。

※アンケートの原文ママで意見を掲載しています。